

境分遣所を充実させる考えは

出動の迅速化を図ることは必要と考える



平出 英夫 議員

質問：境分遣所の職員を増員する考えは。

答弁：境分遣所は、平日1〜2名で勤務しています。南部地区（落合・境地区）からの救急要請については、到着に12分かかります。出動の迅速化を測ることは必要だと考えています。

質問：救急車を配備する考えは。

答弁：県では長野県消防広域化推進計画が進められ、広域消防将来ビジョンの策定に入ります。広域化の中での職員配置など、懸念がある部分につ

いては、強く注文をつけていきます。町の体制としては、どこに住んでも安心できるように工夫していきます。

質問：広域になると境地区は更に端になる。現時点で救急車の配備を考えるべきでは。

答弁：工夫をして安全安心に努めます。



地域活動支援センターと名称が変わった共同作業所

共同作業所を継続し、充実させる考えは

多面的に検討を進めます



名取 武一 議員

質問：来期以降も「地域活動支援センター事業」を継続できないか。

答弁：共同作業所は地域活動支援センターと名称が変わり、施策も生活支援から就労支援へ移行となりました。今後も施設を継続し、新体系移行の運営方針を検討していきます。

質問：施設を来年以降も継続して使用できないか。

答弁：貸借期間は平成22年6月30日で満了、それ以降は施設の在り方等多面的に検討を進める予定です。

質問：利用者の定員を増やすことができないか。

答弁：施設の方向性が決まるまで現定員での運営を考えています。

質問：業務委託支援をどう進めているか。

答弁：社会福祉協議会に指定管理をお願いしています。行政としても必要な支援、指導を進めていきます。

その他の質問
*生活支援ガイドブックについて